

カリキュラム・マップ（地域政策学部）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	地域政策学部 地域政策学科

学習・教育目標	①【基礎知識】	地域政策学に関連する学問分野の基本的な考え方や理論を理解することができる
	②【問題発見】	必要な情報を適切に収集・処理し、地域の問題を科学的に思考することができる
	③【分析と考察】	地域の問題を分析・考察し、その結果を的確に記述・表現することができる
	④【政策提言】	地域の問題の解決策を発見し、有効な地域政策を提言することができる

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。  
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
演習科目群	RP000100	作文法	必修	1	①「文体」「論理的な文章展開」「要約と引用の仕方」を理解し、論理的で明快な文章が書けるようになる。 ②設定された「テーマ」に対し、自ら「問い」を立て、意見の根拠を示しながら、客観的な論述文が書けるようになる。 ③「（敬語使用を含めた）メールの書き方」「企画書」などの実務的な文章スキルを修得する。 ④書き言葉で伝えることの意味を理解し、自らの「書く力」を客観的に分析する。	演習	日本語のみ	◎	△		
	RP000200	学習法	必修	1	①スピーチ、ディスカッションなどの活動を通して、課題を発見し調査しテーマにふさわしい発表ができるようになる。 ②グループ学習や面談などを通じて、積極的に適切なコミュニケーションができるようになる。 ③e-learningや図書館・研究施設などの「学ぶ」環境を身近なものとし、「自律学習」を行うことができるようになる。 ④責任ある態度や主体性を確立するために、地域貢献活動や資格取得などに意欲的に取り組むことができるようになる。	演習	日本語のみ	◎	△		
	RP000300	研究法	必修	2	①研究とは何か、研究の基本的構造は何かを説明できるようになる。 ②社会科学の研究技術の概要が説明できるようになる。 ③様々な研究に触れ、ゼミ選択ができるようになる。	演習	日本語のみ	○	◎	○	
	RP000400	ゼミナールⅠ	必修	2	①研究のプロセス、研究技術、研究のまとめ方が理解できるようになる。 ②担当教員の研究関心と与えられた研究体験を通じて、他者の研究成果を解釈できるようになる。	演習	日本語のみ	△	◎	○	
	RP000500	ゼミナールⅡ	必修	3	①自身の研究関心・問題意識に気づき、将来の研究テーマのきっかけを見つけることができるようになる。 ②①をキャリア形成につなげる機会とすることができるようになる。	演習	日本語のみ		○	◎	△
	RP000600	ゼミナールⅢ	必修	3	①研究計画を立案できるようになる。 ②主体的に研究を実行し、分析し、発表できるようになる。	演習	日本語のみ		○	◎	△
	RP000700	ゼミナールⅣ	必修	4	①ゼミの継続的なテーマに関する研究活動に主体的に参画することができるようになる。 ②卒業研究に関する内部規定に従い、テーマの設定と届出を行うことができるようになる。	演習	日本語のみ		○	○	◎
	RP000800	ゼミナールⅤ	必修	4	①様式や形式、研究倫理を遵守し研究成果を作成できるようになる。 ②他者に理解してもらえぬ研究成果を提示できるようになる。	演習	日本語のみ		○	○	◎
	RP000900	卒業研究	必修	4	卒業研究（＝卒業論文あるいは作品）を完成させる。	卒業論文・研究	日本語のみ		○	○	◎

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
政策分野科目	RP001000	地域政策入門	必修	1	地域政策とは何かについて理解し、その多様な現状を具体的に説明することができる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP001100	現代日本の政治	選択	1	デモクラシーの基本原則を理解した上で、現在の政治状況を観察して、どこに問題があるかを把握し、「では、どうあるべきか?どうするべきか?」を考えることができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	△	
	RP001200	行政学	選択	1	行政の制度・組織・活動の基本を理解するとともに、「生まれながらの行政国家」とも言われる日本における政治と行政、官と民のあり方について、自ら考察できる分析力を養う。	講義	日本語のみ	◎	○	△	△
	RP001300	行政の諸領域と法	選択	2	行政に関する法制度の基礎的な事項と、その根底にある思考様式を理解し、社会で生じている事象と行政活動との関係を法的に認識できるようになることを目標とする。	講義	日本語のみ	◎	○	△	△
	RP001400	地域行政論	選択	2	1. 地方自治の意義や制度の基本を正しく理解する。 2. 自治体行政における組織や活動の実際を理解する。 3. 近年の地方制度、行政をめぐる議論の背景や理論を理解する。 4. 以上により、地域における行政に関する諸問題について、自ら考察することができるようにする。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	○
	RP001500	国土計画論	選択	2	国土計画に関する基本的知識の理解と、代表的な応用例の把握。	講義	日本語のみ	◎	△		
	RP001600	地域の自治と政治	選択	2	1. 地方政治の機構について理解する。 2. 選挙や政党の働きを理解し、選挙を通じた住民参加のあり方を理解する。 3. 直接請求や住民投票、政策形成過程への参加など、直接的な住民参加のあり方を理解する。 4. 地域自治を理解する。 5. 以上の理解を通じて、地域における自治と政治の仕組みを理解し、現実の様々な事象を分析できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	○
	RP001700	公共政策論	選択	2	公共的問題の解決に関わる政策や制度の考え方を理解	講義	日本語のみ	○	◎	◎	○
	RP001800	公共セクター論	選択	3	現代的な視点で公共政策の実施主体についての視座を修得する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	△
	RP001900	政策評価論	選択	3	政策の目標設定の考え方や測定方法、根拠となる価値基準を理解	講義	日本語のみ		◎	◎	○
	RP002000	現代経済事情	選択	1	経済学の基礎理論やキーワードを用いて、現実の経済問題を自分の頭で考える力を身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP002100	理論経済学	選択	1	理論経済学の基礎理論を用いて、現実の経済問題を自分の頭で考える力を身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP002200	経済原論	選択	1	経済学の歴史やマルクス経済学を通して、資本主義経済の基本的な仕組みを理解できる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	
	RP002300	財政学	選択	2	1. 現代の国民生活と経済活動における財政の役割と仕組みの基本を理解する。 2. 財政運営の基本として財政民主主義とその発展課題を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△		
	RP002400	金融論	選択	2	これからのビジネスパーソンに必要とされる、金融リテラシーを身につける。	講義	日本語のみ	○	◎	○	○
RP002500	地方財政論	選択	2	1. 日本における財政の専門的知識を習得する。 2. 実際の地方財政問題を説明する事が出来るようにする。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	○	

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
地域関連科目	RP002600	自然環境論	選択	1	地球環境問題を理解する前提として、自然環境の実態とその形成過程の基礎的な知識が得られる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP002700	地理・地誌学入門	選択	1	地理学および地誌学に関する基礎的な考え方（空間、場所、スケールなど）ができるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP002800	少子高齢社会論	選択	2	少子高齢社会とは何かを説明ができ、少子高齢社会の課題を指摘することができるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP002900	地域コミュニティ論	選択	2	日本都市センターで鈴木が取り組んだ共同研究の知見をもとに、現代社会でのコミュニティの役割と可能性を理解します。	講義	日本語のみ	△	◎	○	○
	RP003000	地域学概論	選択	2	住民主体の地域の学びの持つ意義を理解し、地域学（地域を知り活かすための学び）のプログラムを作成できる。	講義	日本語のみ	◎	○	△	△
	RP003100	東海地域の今日的課題	選択	3	地域学（地域を知り活かすための学び）のプログラムを作成できる。	講義	日本語のみ		◎	◎	○
	RP003200	地域政策学特殊講義	選択	3	具体的事例を通して現実の地域課題を論理的科学的に分析・理解できる。	講義	日本語のみ		◎	◎	○
	RP003300	地域ブランディング論	選択	3	地域をブランド化することの意味を理解し、そのために必要なマーケティング・マネジメント知識を取得する。	講義	日本語のみ		○	○	◎
	RP003400	インターンシップ	選択	3	事前・事後の勉強や実際の就業体験を通じて、働くことについての認識を深める。	演習	日本語のみ		◎	○	○
	RP003500	G I S 概論	選択	2	「地理空間情報高度活用社会」実現に向けて、それぞれの分野や地域において今後どのようにGISを利活用していくか考えられるようになることを最終目標とする。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	△
	RP003600	G I S 演習 I	選択	2	地域社会の情報を空間的に、視覚的に、総合的に表現するGISコンテンツを作成できるようになる。	演習	日本語のみ	◎	○		
	RP003700	G I S 演習 II	選択	3	GDBを活用した地域データの収集、管理、検索と分析ができるようになる。	演習	日本語のみ	◎	△	○	
RP003800	地域政策とG I S 活用	選択	3	・基盤地図情報や国勢調査、国土数値情報、iタウンページなどさまざまな情報ソースからのデータをダウンロードし地図上で可視化することができる。 ・地図上に表示したデータに基づき基本的な空間解析ができる。 ・GPS等独自に収集したデータを地図上に示し、既存データとの融合により基本的な空間解析ができる。	演習	日本語のみ	△	○	◎	○	

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
公共政策系科目	RP003900	公共政策入門	必修	1	公共政策の前提にある問題の構造を明らかにして本質的な問題を発見し、その対応策を検討する能力を養う。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎
	RP004000	地方自治体論	選択	2	基礎自治体の構成員として地域自治に参加するために必要な知識、課題解決、構想する力の修得をめざす。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○
	RP004100	政策過程論	選択	2	現実の政策過程を理解し、政策型思考を把握	講義	日本語のみ		◎	◎	○
	RP004200	経済政策論	選択	2	1. 市場経済に対する政府の関与の必然性とその意義についての基本的理解。 2. 日本における戦後経済政策の意義と役割についての基本的理解。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP004300	社会福祉政策論	選択	2	1. わが国で社会福祉サービスが必要とされている背景を知る。 2. 社会保障・社会福祉の制度と政策に関する基礎的な知識を得る。	講義	日本語のみ	△		◎	△
	RP004400	公務員論	選択	2	全国および地元の自治体の特性と実態を基本的知識として習得するとともに、地域施策や公務員のあるべき姿に対する現実的思考が出来るようめざします。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	○
	RP004500	経営法務論	選択	2	企業経営に不可欠な組織法務と取引法務に関する基礎知識を身に付けることが出来ます。	講義	日本語のみ	◎	◎	△	△
	RP004600	国際通商政策論	選択	3	国際通商の枠組みとルールの学習を踏まえて、我が国の国際通商政策の在り方に関する基礎知識を身に付けることが出来ます。	講義	日本語のみ	◎	◎	△	△
	RP004700	交通運輸政策論	選択	3	①学ぶ指針と俯瞰的な考え方・分析方法が身に付く。 ②地域交通政策課題の本質をみ抜く力が身に付く。 ③地域交通政策の歴史と役割が明確になる。 ④地域交通政策の理念と展望が身に付く。 ⑤地域交通政策の立案能力と政策提言能力が身に付く。	講義	日本語のみ	△	○	◎	◎
	RP004800	保健医療政策論	選択	3	1. わが国の保健制度と保健行政に関する基礎的な知識を得る。 2. わが国の医療制度と医療行政に関する基礎的な知識を得る。	講義	日本語のみ	△		◎	△
	RP004900	災害と防災	選択	3	災害を引き起こすメカニズムと災害の実態を科学的に理解する。	講義	日本語のみ	○		◎	△
	RP005000	NPO論	選択	3	①NPOが生まれた歴史的背景、法制度、機能など基本的な知識を理解できる。 ②「成熟した市民社会」構築とNPOとの関係について、具体的な事例から学び、今後の市民社会のあり方を考察する能力を身に付けることができる。 ③日々のニュースや示された文献等も参考にしつつ、各自が関心をもつ分野におけるNPOについて理解を深め、自らが活動に参画する機会をもつことができる。	講義	日本語のみ	△	○	◎	◎
	RP005100	労働政策論	選択	3	1. わが国の労働法制と労働政策に関する基礎的な知識を得る。 2. 労働政策を理解し、みずからの職業観を形成する。	講義		△		◎	△
	RP005200	知的財産論	選択	3	法的に保護される知的創造物としての産業財産権（特許、実用新案、意匠、商標）、著作権、地理的表示のみならず、様々な分野におけるノウハウや秘密情報等の知的財産の意味と意義を学びます。	講義	日本語のみ	○	○	○	○
RP005300	統治システム論	選択	3	多様な個人や集団が交錯する複雑な政治・政策過程について、分析し、理解する能力の習得を目指す。政府機構をはじめとする統治システムに関する基礎的な知識や、制度が政治・政策過程に及ぼす影響について理解を深める。	講義	日本語のみ	○		◎	△	

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
地域産業系科目	RP005400	地域産業入門	必修	1	グローバル社会と私たちの日常生活を、さまざまな産業活動をヒントに常に関連づけて考えようとする能力を醸成する。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP005500	国際経済事情	選択	2	経済学の基礎理論を用いて、現実の国際経済問題を自分の頭で考える力を身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP005600	中小企業論	選択	2	グローバル経済下で地域の雇用と社会を担う中小企業活動並びに自治体の中小企業政策を理解します。	講義	日本語のみ	△	○	◎	◎
	RP005700	国際ビジネス論	選択	2	多種多様な国際ビジネスの背景・実態に関する学習を踏まえ、それらの企画・実施等に関する基礎知識を身に付けることができます。	講義	日本語のみ	◎	△	△	△
	RP005800	日本経済史	選択	2	近代日本の経済社会の形成・確立および展開について認識を深める。	講義	日本語のみ		◎		
	RP005900	マーケティング論	選択	2	マーケティングの基礎理論を理解し、マーケティングに関する現実の問題を自分の頭で考える力を身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○
	RP006000	地域統計論	選択	3	経済のグローバル化が地域の雇用や賃金、コミュニティに与える影響を分析できる技能を習得します。	講義	日本語のみ	△	◎	◎	△
	RP006100	ソーシャル・ビジネス論	選択	3	コミュニティ・ビジネスが必要とされている社会的背景を理解し、具体的なマネジメントのあり方を理解すること、社会の課題を発見する能力を身につけ、その課題を解決するための手法としてコミュニティ・ビジネスを活用する力をつけることができるようになる。それにより、コミュニティ・ビジネスを具体的に起こすための「企画事業力」を身につける。	講義	日本語のみ	△	△	◎	○
	RP006200	地域金融論	選択	3	地域金融を担う銀行員や取引先企業・自治体関係者にとって有用な知識と知恵を身につける。	講義	日本語のみ		◎	◎	○
	RP006300	企業発展論	選択	3	戦後日本の企業発展についてさまざまな視点から考察し、企業社会についての認識を深める。	講義	日本語のみ		◎		
	RP006400	東アジア経済事情	選択	3	日本の国、ビジネス、国民の視点から今後如何に関わるべきか、東アジア各国、特に中国の経済事情を学び、それについて考えるための基礎的知識を得ること。	講義	日本語のみ	△	◎	○	△
	RP006500	農業経済論	選択	3	私たちの暮らしにとって農業のもつ意義と課題が何かを、地域の身近な事例から考えることができる。若者の就業という視点から、農業を職業とすることの課題と可能性について、自分の意見を持ち、述べるができる。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○
	RP006600	協同組合論	選択	3	協同組合の歴史をふりかえり、なぜ協同組合が生まれたのかを理解できる。現代における協同組合の組織形態と活動内容および課題を理解できる。身近にある協同組合について、仲間と協力しながら、調べ、報告することができる。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○
	RP006700	地域産業史	選択	3	東海地域を中心とした近代産業の生成・展開について認識を深める。	講義	日本語のみ		◎	△	
RP006800	近代産業技術史	選択	3	産業技術の発展を歴史的に見る視点や思考力を身につける。技術発展に伴う様々な課題に対する思考力を身につける。	講義	日本語のみ		○	◎	△	

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
まちづくり系科目	RP006900	まちづくり入門	必修	1	学生各自が「まちづくり」に対するイメージを持つとともに、自分自身の考える「まちづくり」の思考を持つとともに、今後の「まちづくり」に向けて具体的に何ができるかを説明できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP007000	まちづくりとデータ分析	選択	2	統計資料などの既存データやアンケートやヒヤリングなど現地調査によるオリジナルデータの集められるようになること、収集したデータの種類に即した処理・分析できるようになること、得られた結果をどのようにまちづくりに生かしていくかについて考えられるようになることを最終到達目標とする。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○
	RP007100	生涯学習論	選択	2	生涯学習の基礎を学び、生涯学習活動を主体的に担うための力量を養い、生涯学習の意義や社会教育の仕組みが理解できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP007200	ワークショップ演習	選択	2	さまざまな形のワークショップを、参加者として体験しながら、ワークショップという手法の一般的な特徴と、「地域を見つめ、地域を生かす」方法として、どのような場面でワークショップが有効なのかを理解できるようになる。さらに、自分がファシリテーターとして実践可能な、具体的なワークショップのプログラムを提案し、実施できるようになる。	演習	日本語のみ	○	◎	○	△
	RP007300	生活インフラ論	選択	2	まちづくりに必要な生活インフラとしての住宅・ニュータウンと公共交通に関する施策の計画思想や事業制度を理解することができるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	
	RP007400	流域管理論	選択	2	流域を構成している山地、河川、海岸の形成と役割、その繋がりに繋がりと役割を理解するとともに、流域を1つの系として管理するための知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	○	
	RP007500	都市計画学	選択	2	都市計画に関する基本的考え方の理解と、代表的な応用例の把握。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP007600	ツーリズム政策論	選択	2	国や地域の観光政策について学ぶことによって、観光政策を提案するために必要な知識を持つことができる。	講義	日本語のみ	○	○	◎	◎
	RP007700	ツーリズム文化論	選択	2	ツーリズムと文化との関わりについて理解し、ツーリズムによる新たな文化創造に関わるために必要な知識を持つことができる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○
	RP007800	観光まちづくり論	選択	3	まちづくりを観光という視点から捉えることにより、外部からの「ヒト」(来訪者・観光者)ばかりでなく、地域住民にとっても良いまちづくりを提案することができるようになる。	講義	日本語のみ	○	○	◎	◎
	RP007900	グリーン・ツーリズム論	選択	3	地域からの視点で観光・ツーリズムを考え知識を修得すること、近年注目されている地域資源を活用した多様なニュー・ツーリズム、グリーン・ツーリズムの実働例から学び、地域ツーリズム(常在観光)を構想する力の習得めざす。	講義	日本語のみ	○	◎	○	◎
	RP008000	スポーツ・ツーリズム論	選択	3	スポーツをテーマにしたツーリズムの事例を学ぶとともに、スポーツイベントによる地域活性化の可能性について理解を深める。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○
	RP008100	農山村振興論	選択	3	農山村問題を社会科学的に理解し、内発的な振興論を理解・説明できるようになる。	講義	日本語のみ		○	◎	○
	RP008200	地域資源論	選択	3	「地理学」に関連する理論をもちいて、様々な地域資源の発見、活用を自分なりに理論立てて説明できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎
	RP008300	創造都市論	選択	3	創造都市政策について、国内外の先進事例を学び、政策の意義を知り、地域の魅力、地域資源を知り、地域の創造都市づくりに関心を持つ。持続可能な都市づくり、創造都市づくりに参加し担い手となる。さらに講義の聴衆でなく、議論に参加して政策提案能力を高めるとともに、レポート作成を通して、自分の考えをプレゼンする力を高める。	講義	日本語のみ	△	△	◎	◎
	RP008400	地域イノベーション論	選択	3	明治以降の我が国産業の発展を考慮しながら、地域計画(産業振興等)に携わる基礎的な思考力を身につける。	講義	日本語のみ	△	○	◎	◎

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
地域文化系科目	RP008500	地域文化入門	必修	1	地域文化を調査研究する視点を身につける。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP008600	英米の地域と文化	選択	2	英米の文化や歴史の基本的な概要を把握し、各国の観光スポットについて理解し、異文化への魅力を育成する。ツーリズムに必要な知識を英語で学ぶことで、旅行に必要な最低限の英語力も獲得する。また旅行プランの作成を通して、協調性、インターネット等を利用した情報収集・集約スキル、プレゼンテーション力を向上する。	講義	日本語と英語併用	◎	○	○	
	RP008700	地域の食文化	選択	2	東海地方の食生活について語れるだけでなく、他の地域の人々とも楽しく、いろんな視点から食の会話が出来る。	講義	日本語のみ		○	◎	○
	RP008800	地域史料講読	選択	2	江戸時代から明治年間に書かれた未刊行の文書や、一部刊行済みの記録について、それを読破して内容をある程度理解する力量を有するようになる。	演習	日本語のみ	◎	○	○	△
	RP008900	言語と地域	選択	2	ことばと文化の関係について考える。英語、ドイツ語、フランス語や中国語、韓国朝鮮語等の言語とその文化に触れながら、母語（方言）や日本の共通語、日本文化の特殊性、普遍性について考える。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	△
	RP009000	博物館概論	選択	2	まずは、博物館の楽しく、ためになる利用の仕方を身につけてもらいたい	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP009100	ミュージアム展示論	選択	2	ミュージアムの意義と知的なおもしろさを理解する。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP009200	文化情報・メディア論	選択	2	博物館の展示において利用される情報技術について説明することができる。カメラの基本的な構造と機能を説明することができる。照明を利用した静物の撮影をすることができる。フォトタッチソフトを用いて写真の加工ができる。グラフィックソフトを用いてイラストやロゴを作成することができる。自分で撮影した写真を加工し、Webサイト構築ソフトを用いて自分なりのバーチャルミュージアムを作ることができる。	講義	日本語のみ	◎	○	△	
	RP009300	地域生活史	選択	3	江戸時代後期におけるこの地域(東海地方)の人々の日常生活とライフサイクルの概要について、大體理解することができる。その上で、それらの人々の日常の生活様式やライフサイクルのあり方が、何時ごろ、なぜ、どのようにして成立し、それが何時、なぜ、どのようにして現在のどのような形式に変化したのかを考える能力を身につけたい。	講義	日本語のみ	◎	○	△	△
	RP009400	文化政策論	選択	3	地域の文化について目標を定め、それを実現する手段を考えることができる。	講義	日本語のみ		○	◎	◎
	RP009500	食具論	選択	3	和食とはなにかを、だれにでも説明できるようになる。	講義	日本語のみ	○	○	○	◎
	RP009600	地域間交通史	選択	3	日本の古代から江戸時代までの交通史の変遷の概要を大體理解する。その上で、江戸時代の五街道交通と宿場の構造を理解し、同時に東海地域(一部南信濃を含む)の内陸交通や水上交通の実態を学び、その多様性を理解した上で、それが当時の社会経済に及ぼした影響を考える力量を養う。	講義	日本語のみ	○	◎	○	△
	RP009700	多文化共生論	選択	3	外国人集住地域から学び、「多文化共生」を自分の地域に引き寄せて問題点の発見や解決策について考察する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎
	RP009800	世界遺産研究	選択	3	「制度」としての世界遺産について理解し、国や地域におけるその価値について説明することができる。	講義	日本語のみ	○	◎	○	○

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
健康・スポーツ系科目	RP009900	健康・スポーツ入門	必修	1	地域生活における健康とスポーツの意義について説明ができ、健康づくりとスポーツ振興の基本的な方向性を述べるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP010000	スポーツ政策論	選択	2	我が国および諸外国のスポーツ政策とそれに基づく地方政策に関する基礎知識を習得する	講義	日本語のみ	◎	○	△	△
	RP010100	健康行動論	選択	2	1. 健康行動に関する一般的な理論を説明できる。 2. 健康行動に関する一般的な実験手続きを説明することができる。 3. 健康行動に関する一般的な実験結果を考察することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	△
	RP010200	健康・スポーツ社会学	選択	2	地域社会でのスポーツリーダーに必要な体育・スポーツに関する社会的素養を身に付けることができる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	
	RP010300	スポーツ生理学	選択	2	1. 運動発現のメカニズムを生理学的視点から理解する。 2. トレーニング内容とトレーニング効果の関係を生理学的に理解する。 3. 運動生理学におけるキータム (E-C coupling, V02max, Qmax, lactate threshold, など) の意味を理解する。	講義	日本語のみ	○	○	◎	△
	RP010400	セーフティ・マネジメント	選択	2	1. 傷害、事故予防に対する安全対策を理解できる。 2. 事故時における正しい対処を理解できる。 3. 心肺停止時の救命処置が理解できる。 4. 急性症状への初期対応が理解できる。	演習	日本語のみ	○	○	○	◎
	RP010500	スポーツ・バイオメカニクス	選択	3	・筋の出力特性、筋の付着部位によるこの原理を図解できる。 ・慣性モーメントと回転運動について身近な動作を用いて説明出来る。 ・2次元動作解析により撮影された身体部位や用具の速度を測ることができる。 ・3次元モーションキャプチャシステム及びフォースプレートから得られたデータを用い、垂直跳びの動作解析ができる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP010600	スポーツ指導論	選択	3	スポーツ指導者に対する社会的要請内容やスポーツ指導方法について説明と、スポーツ指導計画の立案ができるようになる。	演習	日本語のみ	○	○	◎	△
	RP010700	スポーツ心理学	選択	3	目標1：スポーツ心理学における一般的な理論を説明することができる。 目標2：スポーツ心理学における一般的な実験手続きを説明することができる。 目標3：スポーツ心理学における一般的な実験結果を考察することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	△
	RP010800	アダプテッド・スポーツ論	選択	2	アダプテッド・スポーツの基礎知識を習得する。	演習	日本語のみ		○	◎	◎
	RP010900	アダプテッド・スポーツ演習	選択	3	アダプテッド・スポーツ種目について現場で指導者として実践できるようにする	演習	日本語のみ		○	○	◎
	RP011000	スポーツ経営学	選択	3	学生は本講義を通じて、地域スポーツの事業目標を達成するために必要な経営マインドやマーケティング感覚を身につけることができる。	講義	日本語のみ	△	◎	○	
	RP011100	スポーツ・マネジメント論	選択	3	学生は本講義を通じて、地域スポーツ事業の運営に必要なマネジメントプロセスを理解し、それを実践できるスキルを身につけることができる。	講義	日本語のみ		○	◎	○
	RP011200	スポーツクラブ運営論	選択	3	地域スポーツ指導者とりわけ地域スポーツクラブのマネージャーとして、地域住民にスポーツの意義や効果について説明ができるとともに、地域住民とともにスポーツ活動の運営を行っていただけるようになる。	講義	日本語のみ	○	○	○	◎
	RP011300	スポーツ方法 I	選択	2	武道、身体表現、フィジカルフィットネス(ダンス、柔道、トレーニング) 身体の特徴を理解し、種目に適合した知識、技能および指導方法を身につける。	実技	日本語のみ	◎	○	○	○
	RP011400	スポーツ方法 II	選択	2	チームスポーツ(バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、ハンドボール) 各種目の特性やルール・マナーを理解し、個々の能力の向上を如何にチーム力の向上へと結びつけられるかを常に意識しながら技術、戦術、競技力向上等に関する知識を深め、その指導方法を身につける。	実技	日本語のみ	◎	○	○	○
RP011500	スポーツ方法 III	選択	2	インディビジュアルスポーツ(テニス、卓球、バドミントン、水泳) 各種目の特性やルール・マナーを理解し、個々の技術・戦術・競技力の向上を目指すだけでなく、仲間同士の協力・競争によってお互いのレベルを向上させるような知識と技能を身につけると共にその指導法を学ぶ。	実技	日本語のみ	◎	○	○	○	
RP011600	スポーツ方法 IV	選択	2	アダプテッド・スポーツ種目について現場で指導者として実践できるようにする。	実技	日本語のみ		○	○	◎	



区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連			
								①	②	③	④
食農環境系科目	RP011700	食農環境入門	必修	1	食・農・環境を地域の持続可能性という視点から、文理融合的に一体的に捉えることができるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○		
	RP011800	地域農業政策論	選択	2	地域農業政策の歴史的展開に関する基礎知識を取得し、食や環境とも絡めながら農業政策を理解できるようになる。	講義	日本語のみ	○	◎	○	
	RP011900	食品加工論	選択	2	食品加工に関する科学技術知識を取得し、食品保存原理や食品加工業界の実態についても理解できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	
	RP012000	食品安全政策論	選択	2	食品安全の確保に関わる政策に関して、食品固有の課題を発見し、科学的知見やデータに基づき政策を決定する仕組みが理解できるようになる。	講義	日本語のみ		◎	◎	○
	RP012100	6次産業化論	選択	2	6次産業化に関わる法制度的な知識を取得し、農水畜産物等のマネジメント手法を理解できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	△
	RP012200	フードシステム論	選択	2	食の生産から流通・消費までの全体像をフードシステムとして捉え、各工程の課題等も理解できるようになる。	講義	日本語のみ	○	◎	○	△
	RP012300	環境政策論	選択	3	環境政策についての基礎的知識を身につけることを目標とします。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○
	RP012400	水産資源論	選択	3	水産業の多様性、多面性や、自然と社会の諸事象が有機的に連関していることと、世界と日本の水産業の歴史、現況、課題を説明できる。また、講義とレポート作成を通じ、水産業の諸問題の抽出と、その解決策を提案できる。	講義	日本語のみ		◎	○	
	RP012500	食農環境演習 I	必修	2	食・農・環境現場での実習体験を通して相互の繋がりを理解し、生産や加工に関する実際的な知識を身に付ける。	演習	日本語のみ		◎	○	△
	RP012600	食農環境演習 II	必修	3	食・農・環境現場での集中的な実習体験を通して社会におけるその意義を理解し、持続可能な地域を構想できるようになる。	演習	日本語のみ		○	◎	○
	RP012700	森林政策論	選択	3	日本の森林・林業が抱える問題についての確に把握し、分析・考察することができる。また、有効な政策を提言できる能力を身につけることを目指す。	講義	日本語のみ		○	◎	◎
	RP012800	食農環境最新事情	選択	3	食農環境に関わる最先端の事例を理解し、今後の食農環境政策を構想できるようになる。	講義	日本語のみ		○	◎	○

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
英語	TW000100	Communicative English I	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。発信的言語能力（話す書く技能）を中心に基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW000200	Communicative English II	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。発信的言語能力（話す書く技能）を中心に基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW000300	Reading I	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。文法の基礎固めを行い、その知識を活用しながら講読する英文の内容をより正確に把握する能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000400	TOEIC	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。TOEICの出題形式に慣れ、語彙や慣用表現を学び、ListeningおよびReadingセクションではすばやく必要な情報を把握する能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000500	Practical English I	必修	2年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000600	Practical English II	必修	2年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身に付ける。聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身に付ける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000700	Reading II	必修	2年次	Reading Iの内容をさらに発展させ、国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身に付ける。その知識を活用して、より高度の英語リテラシーの獲得を目指す。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000800	Reading III	必修	2年次	Reading IIの内容をさらに発展させ、国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身に付ける。その知識を活用して、より高度の英語リテラシーの獲得を目指す。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○				
	TW000900	Current English I	選択	2年次	時事英語を通じ、現代社会の諸問題に対応できる基礎的英語運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001000	Current English II	選択	2年次	Current English Iで獲得した技能をもとに、現代社会の諸問題に対応できる基礎的英語運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001100	Communication Skills I	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて、実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001200	Communication Skills II	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001300	Communication Skills III	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				
	TW001400	Communication Skills IV	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身に付ける。	演習	英語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
中国語	TW001500	入門中国語Ⅰ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001600	入門中国語Ⅱ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001700	基礎中国語Ⅰ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001800	基礎中国語Ⅱ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW001900	応用中国語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎中国語で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする。実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002000	応用中国語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎中国語で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする。実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002100	総合中国語Ⅰ	必修	2年次	中国語の講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて、辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002200	総合中国語Ⅱ	必修	2年次	中国語の講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて、辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
	TW002300	中国語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	中国語の発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002400	中国語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	中国語の発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002500	中国語会話（中級）Ⅰ	選択	2年次	中国語で表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す。発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002600	中国語会話（中級）Ⅱ	選択	2年次	中国語で表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す。発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002700	コミュニケーション中国語ⅠA	選択	3年次	中国語で質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002800	コミュニケーション中国語ⅠB	選択	3年次	中国語で質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○				
	TW002900	コミュニケーション中国語ⅡA	選択	3年次	中国語で文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○				
TW003000	コミュニケーション中国語ⅡB	選択	3年次	中国語で文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
フランス語	TW003100	入門フランス語Ⅰ	必修	1年次	フランス語の表現の最初歩（自己紹介、あいさつ、自分や家族について簡単に表現すること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003200	入門フランス語Ⅱ	必修	1年次	フランス語の表現の初歩（自分について、また自分の経験や予定について語ることができるようにすること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003300	基礎フランス語Ⅰ	必修	1年次	フランス語の文字と発音について学び、文法の基礎（「現在」の事象について理解、表現すること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003400	基礎フランス語Ⅱ	必修	1年次	フランス語の文法の基礎（「現在」のみではなく「過去」、「未来」の事象についても理解、表現できること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003500	応用フランス語Ⅰ	必修	2年次	フランス語の初級文法をさらに推し進め、簡易な文章が読める程度の語学力獲得を目指す。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003600	応用フランス語Ⅱ	必修	2年次	フランス語の初級文法の確認と復習をし、辞書を用いて文章が読めるレベルまでの読解能力を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003700	総合フランス語Ⅰ	必修	2年次	フランス語で「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003800	総合フランス語Ⅱ	必修	2年次	フランス語で「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○				
	TW003900	フランス語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	フランス語の会話の最初歩（最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004000	フランス語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	フランス語の会話の最初歩（最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004100	フランス語会話（中級）Ⅰ	選択	2年次	フランス語の会話の初歩（簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004200	フランス語会話（中級）Ⅱ	選択	2年次	フランス語の会話の初歩（簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004300	コミュニケーションフランス語ⅠA	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004400	コミュニケーションフランス語ⅠB	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
	TW004500	コミュニケーションフランス語ⅡA	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○				
TW004600	コミュニケーションフランス語ⅡB	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
ドイツ語	TW004700	入門ドイツ語 I	必修	1年次	ドイツ語の文字と発音について学び、視覚機器を利用しながらリスニングおよび発音練習などを繰り返す。基本語彙についても学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW004800	入門ドイツ語 II	必修	1年次	ドイツ語の文字と発音練習を基礎として、いろいろな状況や場面における簡単な会話方法を通じ基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW004900	基礎ドイツ語 I	必修	1年次	ドイツ語の初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005000	基礎ドイツ語 II	必修	1年次	ドイツ語の初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005100	応用ドイツ語 I	必修	2年次	入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005200	応用ドイツ語 II	必修	2年次	入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005300	総合ドイツ語 I	必修	2年次	ドイツ語の聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005400	総合ドイツ語 II	必修	2年次	ドイツ語の聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○				
	TW005500	ドイツ語会話（初級）I	選択	1年次	ドイツ語の日常会話の運用能力、異文化への理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				
	TW005600	ドイツ語会話（初級）II	選択	1年次	ドイツ語の日常会話の運用能力、異文化への理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				
	TW005700	ドイツ語会話（中級）I	選択	3年次	ドイツ語の日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				
	TW005800	ドイツ語会話（中級）II	選択	3年次	ドイツ語の日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
ロシア語	TW005900	入門ロシア語Ⅰ	必修	1年次	ロシア語の簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006000	入門ロシア語Ⅱ	必修	1年次	ロシア語の簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006100	基礎ロシア語Ⅰ	必修	1年次	ロシア語のキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006200	基礎ロシア語Ⅱ	必修	1年次	ロシア語のキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006300	応用ロシア語Ⅰ	必修	2年次	ロシア語の辞書と活用表を使用しながら、簡単なテキストが読めるようになることを目指し、同時に、ロシア文化に触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006400	応用ロシア語Ⅱ	必修	2年次	ロシア語の辞書の使い方に慣れ、ロシア語の初級および中級レベルのテキストを読みこなす読解力を養成しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006500	総合ロシア語Ⅰ	必修	2年次	入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく。特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006600	総合ロシア語Ⅱ	必修	2年次	入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく。特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
韓国・朝鮮語	TW006700	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	1年次	ハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006800	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	1年次	ハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW006900	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	1年次	韓国・朝鮮語の初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007000	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	1年次	韓国・朝鮮語の初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007100	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007200	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007300	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007400	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連								
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
ポルトガル語	TW007500	入門ポルトガル語Ⅰ	必修	1年次	ポルトガル語の文字、アルファベット、発音及びアクセントからはじまり、数詞、時間、日付、指示詞、所有代名詞、単数形・複数形、形容詞、前置詞、疑問詞、動詞の活用法等、一つのフレーズを作成する為のパーツを一つずつ学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007600	入門ポルトガル語Ⅱ	必修	1年次	ポルトガル語における表現幅及びニュアンスに対する理解を広げ、あらゆるものの一時的な状態、精神的及び身体的状態、人物、生物、物質の所在地、進行形、天気、場所を示す副詞等を学ぶ。一つの不規則動詞による幾つかの異なるニュアンス及び意味合い（用法、活用幅）を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007700	基礎ポルトガル語Ⅰ	必修	1年次	ポルトガル語における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ。目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○				
	TW007800	基礎ポルトガル語Ⅱ	必修	1年次	ポルトガル語における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ。目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○				



カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連										
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
日本語	TW007900	日本語・表現 I	必修	1年次	日本語によるアカデミックな読み書き能力を身につける。さらに異文化を客観的に捉え、自己確立能力、基礎的語学能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008000	日本語・表現 II	必修	1年次	日本語によるレポートや論文を作成する応用力を身につける。論文作成では、特に構成力を学び、客観的な文章を書く力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008100	日本語・論文技術（基礎）I	必修	1年次	日本語を使用して社会的な情報を得る事を目的とし、論理的な思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を読み、それを理解することで基礎的語学能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008200	日本語・論文技術（基礎）II	必修	1年次	日本語によって、高度な知識を得る事を目的とし、論理的な思考に基づいたアカデミック・リテラシーを獲得する。論理的な文章を読み、それを理解することで応用力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008300	日本語・総合 I	必修	2年次	日本語のアカデミックなレベルでの論理的表現の習得を目指す。様々な状況を客観的に説明し、問題解決を解決するために必要な日本語能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008400	日本語・総合 II	必修	2年次	日本語における論理的表現の習得並びに発表能力を高めることを目指す。社会的な問題についての新聞記事や論文を読み、それについてレジュメを作成し、討論、発表を通して自らの考えをわかりやすく伝える日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008500	日本語・論文技術（応用）I	必修	2年次	日本語による論理的な文章の読解リテラシーを身につける。「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能をバランスよく向上させ、「基礎」で習得したスキルをもとに応用力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008600	日本語・論文技術（応用）II	必修	2年次	日本語において、論理的な文章の読解リテラシー及び論理的な文章の作文力を身につける。「応用 I」で習得したスキルを向上させ、「文体」「文法」「文法」に配慮した文章力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008700	アカデミック日本語 I	選択	3年次	日本語によるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、論理的でわかりやすい発表ができるようになる。パワーポイントによる発表、（提言、説明、意見表明などの）スピーチ、レジュメなどを作成する日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008800	アカデミック日本語 II	選択	3年次	日本語によるアカデミックな文章力と構成力を身につける。論理的な論文、レポートが書けるようになる。卒業論文作成に向けて、テーマ設定、構成、資料引用の仕方を理解し、論文を書く日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW008900	ビジネス日本語 I	選択	3年次	日本語による待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ。地域や社会の構成員として、日本人を含む他者との円滑なコミュニケーションをとるための日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						
	TW009000	ビジネス日本語 II	選択	3年次	日本語による待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ。電話のかけ方、依頼、断り、メールの書き方などのビジネスマナー及びそれに伴う日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○						

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
外国理解	TW009100	世界の言語Ⅰ	選択	2年次	ロシア語あるいはポルトガル語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ロシア語 ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009200	世界の言語Ⅱ	選択	2年次	ロシア語あるいはポルトガル語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ロシア語 ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009300	ラテン語Ⅰ	選択	2年次	ラテン語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ラテン語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009400	ラテン語Ⅱ	選択	2年次	ラテン語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ラテン語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009500	ギリシャ語Ⅰ	選択	2年次	ギリシャ語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ギリシャ語 日本語	○	○		◎	○					
	TW009600	ギリシャ語Ⅱ	選択	2年次	ギリシャ語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ギリシャ語 日本語	○	○		◎	○					

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
数理・情報分野	TW010500	教養数学	選択	1年次	数学の基礎的な力とそれをもとにした論理的思考力を習得し、物事や事象を、数学を通して理解する力量を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW010600	数理科学	選択	1年次	社会現象や自然現象を、数学理論を通して理解することのできる、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW010700	確率入門	選択	1年次	確率の定義と基本的な性質を学習し、確率に関する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW010800	統計入門	選択	1年次	統計学の考え方および統計の基本的な性質について学び、簡単な統計量を求める能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW010900	情報倫理	選択	1年次	ネットワーク社会を生かすために必要な倫理、及びその基礎理論・知識を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW011000	マルチメディア表現	選択	1年次	音、静止画、動画等の様々なコンテンツを理解し、これらを組み合わせた効果的な表現方法を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW011100	ネットワーク演習	選択	1年次	インターネットをはじめとする各種ネットワークの仕組みを理解し、簡単なLAN構築ができるようになる。	演習	日本語		○				◎				
	TW011200	社会データ分析入門	選択	1年次	統計データの扱い方と表計算ソフトの使い方を習得することにより、データの分析や表現と解析能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW011300	プログラミング	選択	1年次	ソフトウェアの仕組みを論理的に考える能力を獲得し、プログラムを用いて簡単な機能構築ができる。	講義	日本語		○				◎				
	TW011400	情報の科学	選択	1年次	論理の操作、進数の変換、文字、画像、音声などの容量計算、文字データの検索や置換、表計算ソフトをつかったデータ処理の基礎的能力を身につける。	講義	日本語		○				◎				
	TW011500	情報と社会	選択	1年次	知的所有権や個人情報など基本的な法規や、広告や評判システムのしくみを学び、賢い選択を可能にする基礎を築き、数量だけでなく、つながり方に注目して事象をみる眼を養う能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW011600	情報総合演習	選択	1年次	文書作成やデータ処理などの基礎的な情報リテラシー能力を演習を通して習得するとともに、デジタル化などの情報処理の基本的な手法を身につける。	演習	日本語		○				◎				

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解、地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連										
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
自然分野	TW011700	物質の科学	選択	1年次	様々な物質に関する科学的知識と科学的素養、および物事を科学的論理的に分析できる思考能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW011800	地球の科学	選択	1年次	地球科学の基礎的な知識を習得し、身の回りの自然現象のメカニズムや地球進化の過程の理解を通して科学的素養を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW011900	宇宙の科学	選択	1年次	宇宙に関する内容を中心とした学習を通して、自然科学に対する苦手意識を無くし、興味関心を高める基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012000	生命の科学	選択	1年次	生命活動に関する科学的基礎知識を、食行動の視点から理解することにより、安全で健康な生活とは何かを分析・思考できる科学的素養を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012100	環境の科学	選択	1年次	地球温暖化など多様な環境問題とその背後にある地球環境のメカニズムを理解し、今後の地球環境を自ら考える力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012200	科学技術史	選択	1年次	様々な科学技術の歴史の概要を知り、それが人類文明の中でどのような意味があるのかを理解する。	講義	日本語	◎	○									
	TW012300	現代技術と社会	選択	1年次	現代社会を基礎づける様々な科学技術に関して、その原理と社会への影響を考えられる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012400	地球環境問題	選択	1年次	地球環境問題の本質と構造を正しく理解し、対応を模索する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012500	自然環境と地理	選択	1年次	自然地理学の分野を中心に世界の諸地域の多様な自然環境に関する知識を習得し、自然環境の分析能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012600	動物行動学	選択	1年次	ヒトを含む動物の行動を対象に研究する学問である動物行動学について基礎的知見を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012700	健康科学	選択	1年次	身近な健康問題から自身の健康管理の方法を学び実践する。我が国の死因の多くを占める生活習慣病について基礎知識を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW012800	スポーツ工学	選択	1年次	スポーツ工学やスポーツバイオメカニクスに関する専門用語や法則、研究方法等を実際のスポーツ場面に合わせ身につける。	講義	日本語	◎	○									
TW012900	トレーニング科学	選択	1年次	トレーニングの生理学的基礎・力学的基礎・生物学的基礎ならびにトレーニングの原理・原則、基礎的方法を身につける。	講義	日本語	◎	○										

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連									
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
社会分野	TW013000	歴史学	選択	1年次	様々な歴史事象と歴史観を学び、歴史学の基本は史料から史実を見出すことが重要であることを理解し基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013100	考古学	選択	1年次	考古学の方法論と成果について理解し、考古遺物と遺構から明らかになる歴史事象を踏まえた基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013200	地理学	選択	1年次	日本列島など世界の諸地域の地理的性質と抱える課題を理解しつつ、多様な空間スケールで社会の諸事象を把握・考察する力を養う。	講義	日本語	◎	○								
	TW013300	社会学	選択	1年次	社会学の基本的な考え方や概念を理解することにより、日常生活の中で遭遇する具体的な問題や出来事について、社会的事象との関連を想像しつつ考えるための基礎能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013400	政治学	選択	1年次	政治の機構（国会や内閣、官僚制など）や政治の過程（選挙、政党、利益集団など）の意義や働きを理解し、民主政治のあり方について考察できる分析力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013500	経済学	選択	1年次	現代経済の仕組みを理解し、経済学の基礎理論を修得し、経済問題を自分で考えることができる力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013600	法学	選択	1年次	法学の基本知識を学ぶことを通し、個人の尊厳性にもとづく人権の意義について考える力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013700	経営学	選択	1年次	企業をはじめとする組織の経営に関して、受講者が自ら問題を発見し、それを分析する力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013800	憲法学	選択	1年次	憲法の基本的な原理やしくみを理解し憲法に基づいて物事を考える基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
	TW013900	レクリエーション論	選択	1年次	様々な対象者の交流について学び、地域の社会資源を積極的に調べ学ぶこと、レクリエーション活動を実施する際の情報収集・企画・実施・評価の手順を学び、手順にそった企画書が作成できる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○								
TW014000	ジェンダー論	選択	1年次	ジェンダーという概念を理解し、ジェンダー視点をもって社会のありよう、あるいは個人の生き方などを考える基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何が出来るようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解、地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連										
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
人文分野	TW014100	哲学	選択	1年次	哲学の思考法について一定の理解を得ると同時に、今日の人文系諸学のパラダイムを概観し基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014200	論理学	選択	1年次	論理的に真である（正しい）とはどういうことかを理解し、日常生活でも論理的な正しさを実践できることを身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014300	宗教学	選択	1年次	宗教の様相を学ぶことで、宗教と社会との関係について理解を深め、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得する。	講義	日本語	◎	○									
	TW014400	心理学	選択	1年次	教養としての心理学全般を学ぶ。学問としての心理学が扱うものと扱わないもの、できることとできないことの違いを正しく理解し、実社会における心理学の現実的な応用可能性について考えることができるよう基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014500	文化人類学	選択	1年次	文化人類学に関する基礎知識を得るとともに、文化人類学の方法を知り、文化について考察できる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014600	現代の思想	選択	1年次	様々な現代思想について学習し、現代社会が抱える諸問題について考えるための基本的知識を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014700	民俗学	選択	1年次	民俗学の歴史や方法論、成果について学習し、民俗学に関する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014800	スポーツ文化論	選択	1年次	スポーツが文化であることを理解・説明でき、次世代にスポーツ文化を正確に伝播できる基礎知識を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW014900	日本事情 I	選択	1年次	日本についての理解を深め、アンケート調査やレポート作成とその発表のスキル、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW015000	日本事情 II	選択	1年次	日本の社会問題や社会事情についての理解を深め、それらについて自ら調べて発表する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW015100	文学	選択	1年次	古今東西の文学作品の鑑賞を通じて、その表現、テーマを学び、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW015200	日本語学	選択	1年次	日本語について多様な角度から、学問的知識を学び基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW015300	古典の世界	選択	1年次	古典文学に親しみ、文字文化への興味を喚起しつつ読解力や表現力を高め、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW015400	言語と文化	選択	1年次	言語と文化の特質を知り、世界におけるその位置と役割について知ることで基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									
	TW015500	芸術論	選択	1年次	芸術における自然や自由の意味などの各種論点を考え、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○									

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。  
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。  
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連										
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
総合		総合科目	選択	1年次	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける。	講義	日本語	△	◎	○								
	TW015600	総合演習	選択	2年次	共通教育各分野を総合的に包括し、演習形式授業にて専門教育科目に必要な学習能力を身につける。	演習	日本語	△	◎	○								
	TW015700	キャリアデザイン基礎	選択	1年次	キャリアに関する視点や理論を学ぶことで、自分自身のキャリアデザインを描き、その実現に向けた計画力を身に付けることができる。	講義	日本語	○	◎	△							△	
	TW015800	キャリアデザイン応用	選択	2年次	キャリアや労働などが持つ意味を多面的領域から考察することを通じ、キャリアに対する客観的な理解力と主体的な姿勢を身に付けることができる。	講義	日本語	◎	○	△								△
	TW015900	キャリアデザイン特殊講義	選択	2年次	特定分野のキャリア等について学ぶことを通じ、自分自身のキャリア形成意欲を高め、将来に対して明確な目標と方向性を持ち、その実現に向けた思考力を身に付けることができる。	講義	日本語	○	△	◎								△
体育	TW016000	スポーツ・健康演習	必修	1年次	健康演習で得られた食生活および生活習慣病に関する知識に基づき、自分自身の生活を振り返ると共に健康的な生活を送るための生活プランを立てることができる。 体力測定演習で得られた自分のデータに基づき、体力の維持・向上を目的とした無理のない運動プランを立てることができる。 屋内・屋外種目として実施したスポーツ種目について、種目の特性を活かした身体運動を実施することができる。 各種トレーニングについて目的に合わせたトレーニングを選び実践することができる。	演習	日本語	○		○							◎	
	TW016100	スポーツ実技 I	選択	2年次	継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける。	実技	日本語	△		○							◎	
	TW016200	スポーツ実技 II	選択	2年次	継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける。	実技	日本語	△		○							◎	